



【問】糖尿病の治療中です。かかりつけの先生に歯周病の治療をした方がいいと言われました。何か関係があるのでしょうか。

(長崎市、50歳男性)

【答】糖尿病には主に五つの合併症がありました。その六つ目として歯周病が挙げられています。重度歯周病の人では、口の中にいる歯周病菌が内毒素と呼ばれるものを放出し

ます。この内毒素が体の細胞に働きかけて、TNF- α というタンパク質をたくさん作るように促します。このTNF- α がインスリンを作りにくくするので、

糖尿病と歯周病の関係

糖尿病が悪化するので。さらに、現在糖尿病でない人が糖尿病を発症するリスクファクターに歯周病がなることも分かっています。糖尿病が悪化すると、歯と白血球の動きが低下し、歯周病が悪化しやすくなります。さらにインスリンが不足してくると、ブドウ糖をエネルギーとして使うことができなくなり、筋肉や脂肪、タンパク質を分解し

相互に悪化要因となる

逆に糖尿病があると、歯周病が悪化することも分かっています。まず糖尿病になると口の中が湿ります。血液の中のブドウ糖が多すぎて腎臓が吸収しきれず、尿として糖を出そうとすると白血球の動きが低下し、歯周病が悪化しやすくなります。さらにインスリンが不足してくると、ブドウ糖をエネルギーとして使うことができなくなり、筋肉や脂肪、タンパク質を分解し

て使うようになります。それが歯肉のコラーゲンの減少や破壊につながります。最後に、糖尿病が進行すると全身の血管に障害が生じます。そのため感染しやすくなったり、治療が遅くなったりして、歯周病に悪影響を及ぼします。このように糖尿病と歯周病は相互関係にあります。糖尿病の人が歯周病の治療したところ、糖尿病の指標である血糖値「HbA1c」が1%低下したとの報告もあります。糖尿病の治療を受けている方は、一度、歯周病のチェックを受けることをお勧めします。

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者

森 竜文
森 竜文



長崎市相生町
森歯科医院 歯科医師